

遠隔操作ロボットを活用した動物園体験を実施します！
～千葉大学医学部附属病院小児病棟と千葉市動物公園をつなぎます～

千葉市動物公園では、認定特定非営利活動法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズとの連携により、千葉大学医学部附属病院小児病棟と当園をオンラインでつなぎ、小児がんの治療を受けている子どもたちに、疑似動物園体験を提供しますので、お知らせします。

本体験では、認定特定非営利活動法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズが用意した遠隔操作ロボットを子どもたちが操作することで、園内の見学を行います。

1 実施目的

入院中の子どもたちは環境の変化がほとんどなく、治療や検査、授業など決められたスケジュールで受動的な生活を送っていることから、以下の目的で実施します。

- (1) 子どもたちが大好きな動物を見学し、親子で楽しい時間を過ごすこと
- (2) 病院以外の人（ミルフィーユスタッフや動物公園職員）とあいさつや会話をすること
- (3) ロボットを動かして、画面を見ているだけの見学ではなく、自発的な体験をすること

2 日程・実施内容等

(1) 日時

令和6年3月6日（水）14:00～15:00

(2) 場所

千葉大学医学部附属病院、千葉市動物公園

(3) 内容

千葉大学医学部附属病院小児病棟で小児がんの治療をしている子どもたちが、パソコンで「Double3（ダブルスリー）」というロボットを遠隔操作して千葉市動物公園を見学します。

3 取材について

感染症の予防の観点から、病棟での取材はお受けできません。動物公園での取材をお願いします。

動物公園での取材を希望する場合は、動物公園（電話252-7566）へ2月29日（木）15:00までにご連絡ください。



Double3（ダブルスリー）

<参考>

1 動物公園がこれまで病棟を対象にオンラインガイド等を行った実績

(1) 東埼玉病院 重症心身障害児者病棟

令和5年6月7日、14日、7月12日

Zoomを活用した動物園案内およびガイドを実施

(2) カンボジア ジャパンハートこども医療センター

令和5年11月15日

Zoomを活用した動物園案内およびガイドを実施

(3) 千葉市立海浜病院 小児科及び院内学級

令和6年1月31日

Zoomを活用した動物園案内およびガイドを実施

※今回は、遠隔操作ロボットを子どもたちが操作するという点がこれまでと異なります。

2 遠隔操作ロボット「Double3 (ダブルスリー)」について

「Double3」はディスプレイを備えた走行ロボットで、離れた場所からインターネット経由で遠隔操作し、ビデオ通話状態で移動します。

高さは120センチ(150センチまでアップ可能)で、障害物を避けながら、リモートで自動走行します。

○iPresence 株式会社(販売元) ホームページ

【URL】 <https://ipresence.jp/double/>



3 認定特定非営利活動法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズについて

認定特定非営利活動法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズは平成9年10月、小児がん患者とその家族、治療を終了した小児がん経験者への支援活動を目的に設立されました。

小児がんの平均治癒率は70～80%と高くなっていますが、その一方、治療には一年前後の入院生活が必要となることが多く、長期にわたる隔離生活や、成長発達過程にある患者に及ぼす身体的、社会心理的な影響が心配されています。その影響を少しでも軽減し、退院後の生活にスムーズに戻れるよう、病棟内で季節の行事やアニマルセラピー、ロボットを使用して見学や交流などを行っています。今回はこれらの活動の一環として動物公園と連携をしました。

また、退院後は自らの健康管理を行えるよう、情報提供や相談できる仲間づくりのための勉強会や、小児がん経験者が社会へ進出しやすくなるよう、社会啓発事業も行っています。

○ミルフィーユ小児がんフロンティアーズホームページ

【URL】 <https://www.millefeuille.or.jp/>

